

ラジオカセットプレーヤー

取扱説明書

Operating Instructions (page 48)

XXXXXXXXXX

XXXXXXXXXX

お買い上げいただきありがとうございます



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してくだ
さい。

WALKMAN

WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。
WALKMAN is a registered trademark of Sony Corporation.

xxxx

xxxx

WM-FX877

安全のために



- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電電池ケースに入れてください。ケースに入れずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の+と-がショートし、発熱することがあります。
- 乾電池や乾電池ケースはコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の+と-、または乾電池ケースの端子が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

目次

主な特長	4
付属品を確かめる	5
準備する	6
テープを聞く	8
ラジオを聞く	10

テープを聞く - 応用

本体で操作する	14
好きな曲を頭出しする (AMS)	15
テープ走行のしかたを選ぶ (MODE)	16
長いあきをとばす(ブランクスキップ)	18
ドルビー B NRで録音されたテープを聞く	20

ラジオを聞く - 応用

ラジオを聞くときのご注意	22
自分で周波数を合わせる(マニュアル選局).....	23
放送局を自分で設定する	24
放送局一覧	28
海外でラジオを聞く	30

その他の機能を使う

高音または低音を強調する (SOUND)	32
音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS)	34
誤操作を防ぐ(ホールド機能)	36

電源

乾電池・充電式電池の取り替え時期は	37
コンセントにつないで使う(ワールドモデルのみ).....	38

その他

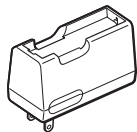
お手入れ	39
使用上のご注意	40
故障かな?	42
保証書とアフターサービス	44
主な仕様	45
各部のなまえ	46

主な特長

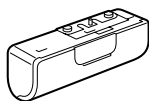
- ワンタッチで自分の地域の放送局が呼び出せる、オートステーションプリセット (ASP)。(国内モデルのみ、ワールドモデル除く)(10ページ)
- テープに合わせて選べる3種類の音質、REVIVE、MEGA BASS、^{リバイブ}^{メガベース}GROOVE。(32ページ)
- 16倍速の高速サーチで、前後9曲の頭出しをするAMS。(15ページ)
- 充電式電池と乾電池の併用で、約45時間の長時間再生ができる、スタミナタイプ。(37ページ)
- ワンレバーで操作できる、ジョグリモコン。
- 聞きたい1曲を繰り返し聞ける、曲おぼえ1曲リピート。(14ページ)

付属品を確かめる

充電器
国内モデルのみ



乾電池ケース



キャリングポーチ



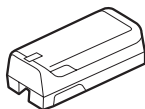
取扱説明書

ソニーご相談窓口のご案内

保証書

または

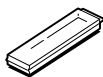
ワールドモデルのみ



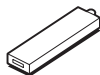
ソニーマンガン
乾電池(単3形)
R6P(SR)
(お試用*)



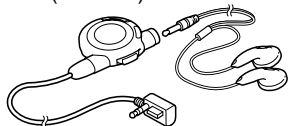
充電地ケース



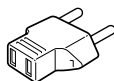
充電式ニカド電池
NC-6WM



リモコンつきヘッドホン
(リモコン)



ACプラグアダプター
(ワールドモデルのみ)



* 付属のマンガン乾電池はお試用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

リモコンつきヘッドホンについて

付属のリモコンに別売りのヘッドホンを接続する場合は、ステレオミニプラグのものをお使いください。

マイクロプラグのものは使えません。

準備する

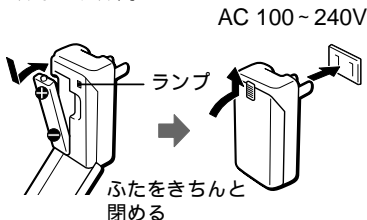
お買い上げ時には、充電式電池をまず充電してください。
コンセントでの使いかたは、「コンセントにつないで使う」(38ページ)をご覧ください(ワールドモデルのみ)。

1 充電式電池を充電する

充電式電池は約300回充電できます。

国内モデル用

ワールドモデル用

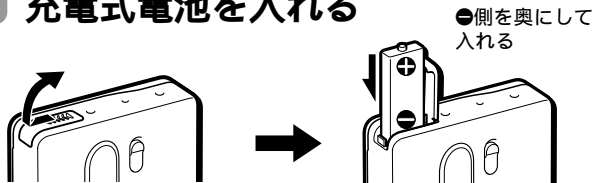


約2時間で充電完了です。

充電器のプラグがコンセントと合わないときは、ACプラグアダプター(ワールドモデルのみ付属)をお使いください。

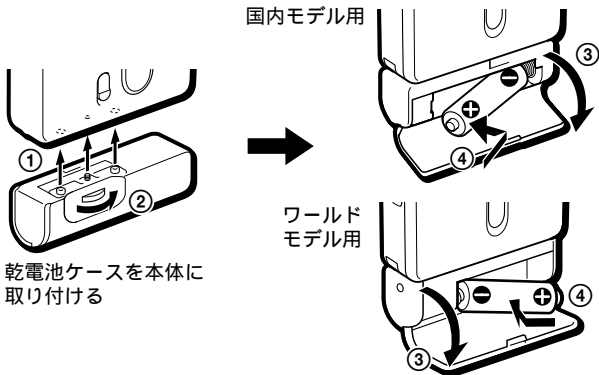
充電時間は約1時間です。充電中はランプが点灯し、充電が完了するとランプは消えます。

2 充電式電池を入れる



乾電池で使うときは

充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。



乾電池ケースを本体に取り付ける

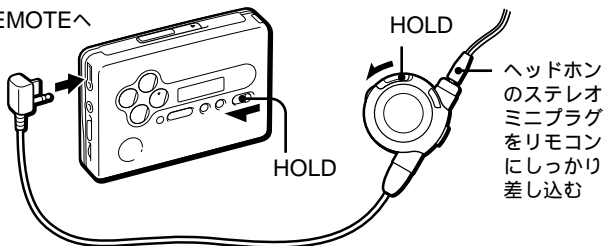
図のように必ず \ominus 側から入れてください

乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

3

リモコンをつなぎ、ホールドを解除する

REMOTE \wedge



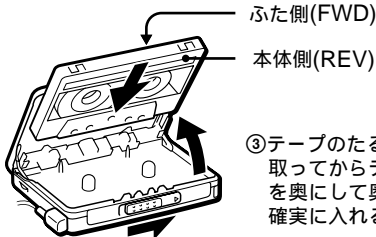
テープを聞く

TYPE I (ノーマル)、TYPE II (ハイポジション)、TYPE IV (メタル) のテープを自動的に判別し、再生します (オートテープセレクター機能)。

1 カセットを入れる

① OPENつまみを矢印の方向にずらす

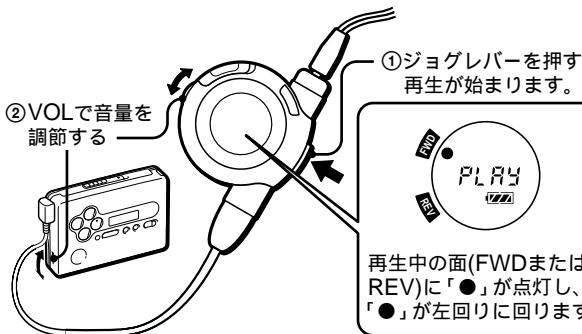
② ふたが少し開いたら、手でふたを開ける



③ テープのたるみを取ってからテープ側を奥にして奥まで確実に入れる

2 再生する(リモコンで操作する)

② VOLで音量を調節する



リモコンで音量調節するときは、本体のVOLつまみを6程度にします。本体で音量調節するときは、リモコンのVOLつまみを最大にします。

ヘッドホンが耳にぴったり合わないときや、音のバランスが不自然なときは、おさまりのいい位置に調節してください。



「L」を左、
「R」を右の耳に

その他のテープ操作

操作	ジョグレバーの操作	動作の確認音(リモコン表示)
再生面の切り換え	再生中に1秒以上押したままにする	FWD (ふた側) 面スタート ピ (「FWD」に「●」) REV (本体側) 面スタート ピピ (「REV」に「●」)
停止	再生中に1回押す	ピ
早送り	停止中に上にずらしてすぐ離す	ピ (「FF」が点灯)
巻き戻し	停止中に下にずらしてすぐ離す	ピ (「REW」が点灯)
聞いている曲を繰り返し再生 (1曲リピート)	再生中にすばやく2回押す (解除するには1回押す)	ピピーピ (「REP」点灯) 巻き戻し中はピピーピを繰り返し返す (「REP」点滅)
早送りして反対面を再生 (スキップリバース)	停止中に2秒以上、上にずらす	ピ ピ ピ、ピ、… (「FF」が点滅)
巻き戻して最初から再生 (オートプレイ)	停止中に2秒以上、下にずらす	ピ ピ ピピ、ピピ、… (「REW」が点滅)

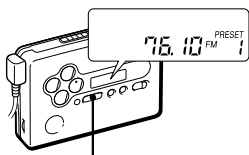
上記以外のテープ操作は、「テープを聞く - 応用」(14ページ)をご覧ください。

! カセットぶたを開けるときは、テープが停止していることを確認してください。動作中にカセットぶたを開けるとテープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。

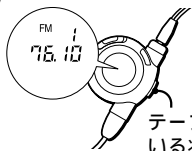
ラジオを聞く

本機には全国8地域と新幹線の主な放送局がエリア番号に記憶されているので、エリア番号を選べば、すぐに受信できます(エリアコール機能)。

1 ラジオをつける



BAND•RADIO ON
ボタンを押す



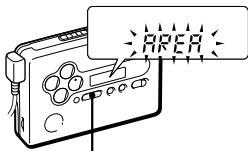
テープが停止して
いる状態でジョグレ
バーを1秒以上押す

テープ再生中の場合は、ジョグレバーを
1度押してテープを止めてから、
1秒以上押してラジオをつけてください。

2 地域を選ぶ

国内モデルのみ(ワールドモデル除く)：

今いる場所で聞ける放送局を自動的に呼び出すには(ASP機能)
受信状態の良い場所で操作してください。



「AREA」表示が出るまでBAND/ASP・
RADIO ONボタンを押したままにする



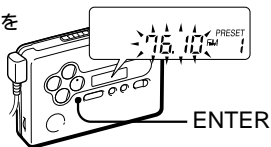
今いる場所のエリア番号を自動的に選び、エリア番号が選べない場合は、
その場所で受信できるAM、FM、TV局を自動的に探してプリセット番号
に記憶していきます。

表示窓にFMの周波数と「PRESET 1」表示が点灯したら呼び出し完了で
す。

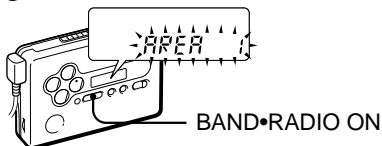
国内モデル・ワールドモデル共通：
自分でエリアを選ぶには (マニュアルエリアコール)

1～8またはJRのエリア番号を選ぶと、28から29ページの表にある放送局が一度に記憶されます。

- ① ENTERボタンを
押す

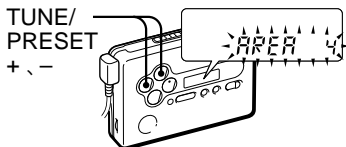


- ② 「AREA 1」表示が点滅するまでBAND・RADIO ONボタンを
押したままにする



- ③ 表示の点滅中にTUNE/PRESET +または - ボタンを繰り返し
押し押しして1～8またはJRのエリア番号を選ぶ。
TUNE/PRESET + ボタンを押すごとにエリア番号が、1 2
3 4 5 6 7 8 JR USA* Eur* 1 2 3...と
変わります。

1: 札幌 2: 仙台 3: 北関東 4: 南関東 5: 名古屋
6: 大阪 7: 広島 8: 福岡 JR: 新幹線

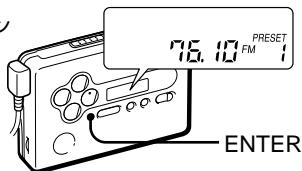


* エリア番号USAとEurは海外でラジオを使うときのもので「海外でラジオを聞く」(30ページ)参照。

(次ページへつづく)

ラジオを聞く(つづき)

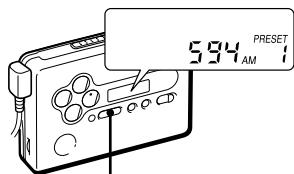
- ④ENTERボタン
を押す



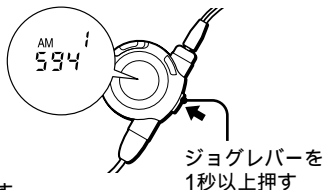
- ・表示の点滅が止まった場合は手順2-①から操作し直してください。
- ・各エリア番号に記憶されている放送局については「放送局一覧(28~29ページ)」をご覧ください。

3

国内モデル:AM、FM、またはTVを選ぶ ワールドモデル:AMまたはFMを選ぶ



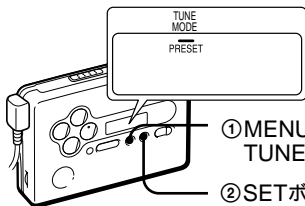
BAND・RADIO ONボタンを押す



ジョグレバーを
1秒以上押す

4

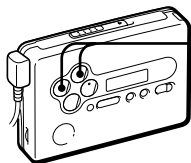
プリセット選局モードにする



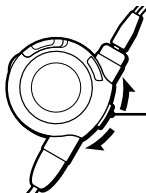
- ①MENUボタンを繰り返し押し続けてカーソルをTUNE MODEに合わせる
- ②SETボタンを押して「PRESET」を表示させる

5

放送局を選ぶ



TUNE/
PRESET
+、- ボタン
を押す



ジョグレバーを
上下にずらす

ラジオを消すには

本体の■・RADIO OFFまたはリモコンのジョグレバーを押します。

次にラジオを聞くときは

呼び出した放送局が記憶されています。同じ地域で聞くときは、手順2の操作は不要です。放送局が異なる地域で聞くときは、手順1~5をやり直します。

受信状態をよくするには

AM放送

アンテナを内蔵しているので、本体の向きや位置を変えて、聞きやすいように調節します。

FM放送、TV放送(国内モデルのみ)

ヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけのばして使います。

放送局を記憶している間に電源を抜かないでください

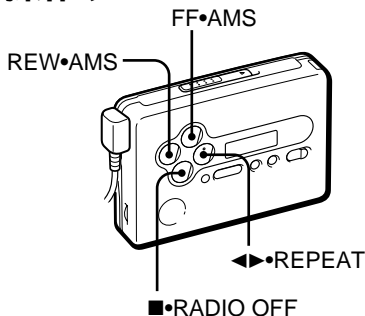
呼び出した放送局が記憶されないことがあります。

うまく受信できないときは

手動で受信して、記憶させてください。(「自分で周波数を合わせる」(23ページ)、「放送局を自分で設定する」(24ページ)参照)

▶テープを聞く - 応用

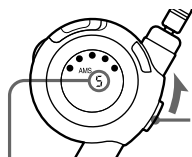
本体で操作する



操作	押すボタン	動作の確認音
再生	◀▶•REPEAT	FWD(ふた側)面スタート ピ REV(本体側)面スタート ピピ
再生面の切り換え	再生中に◀▶•REPEAT	FWD(ふた側)面スタート ピ REV(本体側)面スタート ピピ
停止	■•RADIO OFF	ピ
早送り	停止中にFF•AMS	ピ
巻き戻し	停止中にREW•AMS	ピ
聞いている曲を 繰り返し再生 (1曲リピート)	再生中に◀▶•REPEAT を2秒以上(解除するに はもう一度押す)	ボタンを押したときと巻き戻し中 にピピーピ(巻き戻し中は繰り返す)
早送りして反対面を 再生 (スキップリバース)	停止中にFF•AMSを 2秒以上	ピ ピ ピ、ピ、...
巻き戻して最初から 再生(オートプレイ) 2秒以上	停止中にREW•AMSを 2秒以上	ピ ピ ピピ、ピピ、...

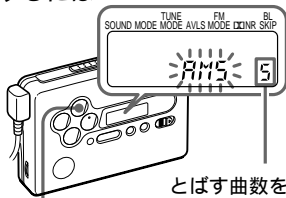
好きな曲を頭出しする (AMS - オートミュージックセンサー)

早送りして何曲か先の曲を再生するには



とばす曲数を表示

再生中にジョグ
レバーをとばし
たい曲の数だけ
上にずらす

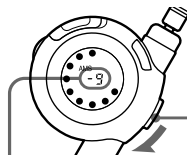


とばす曲数を表示

再生中にFF・AMSを
とばしたい曲の数だけ押す

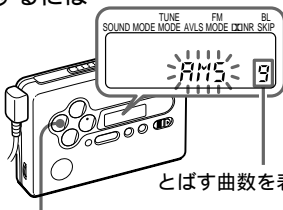
確認音：ピ あと1曲になるとピッピー、ピッピー、…

巻き戻して何曲か前の曲を再生するには



とばす曲数を表示

再生中にジョグ
レバーをとばし
たい曲の数だけ
下にずらす



とばす曲数を表示

再生中にREW・AMSを
とばしたい曲の数だけ押す

確認音：ピ あと1曲になるとピッピー、ピッピー、…

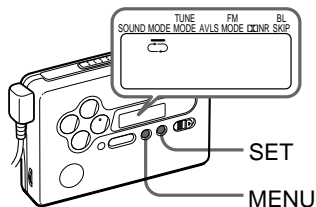
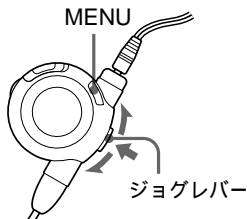
最大9曲までとばすことができます。

AMS、1曲リピートが正しく動作しないことがあります

- AMSや1曲リピート機能では、曲間の4秒以上のあき(無音部分)を見つけて頭出しをしています。あきが4秒未満のときや曲間に雑音があるとき、曲の直前や直後に操作したときは、頭出しができないことがあります。また、曲中に音の小さい部分や長い無音部分があると、そこで頭出しをすることがあります。
- AMSや1曲リピートの途中で停止することがありますが、故障ではありません。詳しくは「故障かな?」(42ページ)をご覧ください。

テープ走行のしかたを選ぶ

モード (MODE)



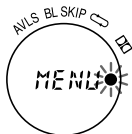
テープ走行のしかたを選べます。

リモコン表示	本体表示 (MODE)	モード
↶に「●」点灯	↶	両面を繰り返し再生
↶に表示なし	↷	両面を1回再生*

* REV面から始めたときはREV面のみを再生して止まります。

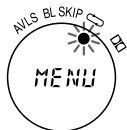
リモコンで操作するには

1 MENUボタンを1回押してメニュー画面にする



↶に「●」が点灯しているときは、「両面繰り返し」モードにすでに設定されています。

- 2 ジョグレバーを上下にずらして、点滅している「●」を
↻のところに合わせて



- 3 ジョグレバーを押す

ピーという確認音がして、↻に「●」が数秒間点灯した後、現在の動作(再生または停止)表示に戻ります。



両面1回再生モードに戻すには
上記の操作で「●」を消灯させます。

設定の途中でメニュー画面を終了するには
30秒以上操作しないと、メニュー画面は自動的に現在の動作表示に戻りますが、その前にメニュー画面を終了したいときは、MENUボタンを押してください。

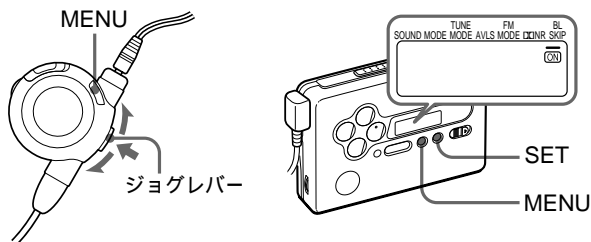
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、MODEの位置に合わせます。SETボタンを押して、表示を切り換えます。

ご注意

- リモコンでメニュー設定の操作をしている間は、リモコンではテープ操作はできません。
- 設定は、電池を交換しても消えません。

長いあきをとばす(ブランクスキップ)



再生するときに、曲間の長いあきをとばして次の曲の頭出しをします。

リモコン表示	本体表示(BL SKIP)	モード
BL SKIPに「●」点灯	ON	BL SKIP入
BL SKIPに表示なし	表示なし	BL SKIP切

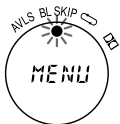
リモコンで操作するには

1 MENUボタンを1回押してメニュー画面にする



BL SKIPに「●」が点灯しているときは、ブランクスキップ機能がすでに設定されています。

2 ジョグレバーを上下にずらして、点滅している「●」をBL SKIPのところに合わせる



3 ジョグレバーを押す

ピーという確認音がして、BL SKIPに「●」が数秒間点灯した後、現在の動作(再生または停止)表示に戻ります。



ブランクスキップを解除するには
上記の操作で「●」を消灯させます。

設定の途中でメニュー画面を終了するには
30秒以上操作しないと、メニュー画面は自動的に現在の動作表示に戻りますが、その前にメニュー画面を終了したいときは、MENUボタンを押してください。

本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、BL SKIPの位置に合わせます。SETボタンを押して、「ON」を表示させます。

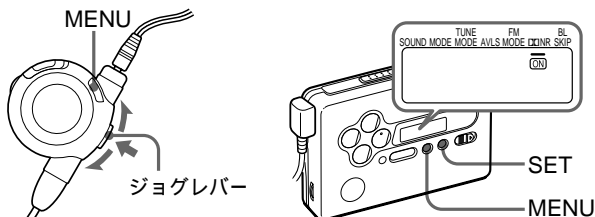
ブランクスキップが正しく動作しないことがあります

- ブランクスキップでは曲間に12秒以上のあきを見つけると、早送りして次の曲を再生しています。録音した機器によっては曲間のあきが完全な無音部分にならないために、ブランクスキップが動作しないことがあります。また、小さい音が長く続く部分があると、曲の途中で早送りすることがあります。その場合には、ブランクスキップを解除してください。
- 各面の始めの無音部分が10秒以上の場合、最初の曲の頭の部分が飛ばされてしまい、途中から再生が始まる場合があります。
その場合には、ブランクスキップを解除してください。
- ブランクスキップの途中で停止することがありますが、故障ではありません。詳しくは「故障かな？」(42ページ)をご覧ください。

ご注意


- リモコンでメニュー設定の操作をしている間は、リモコンではテープ操作はできません。
- 設定は、電池を交換しても消えません。



ドルビー* B NRで録音されたテープを聞く



録音の特性に合わせた再生ができます。ドルビーB NRを使わずに録音されたテープの場合には「ON」または「●」を消します。

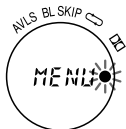
*ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。


ドルビー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

リモコン表示	本体表示 (DOLBY NR)	モード
 に「●」点灯	ON	ドルビーB NR入
 に表示なし	表示なし	ドルビーB NR切

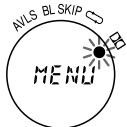
リモコンで操作するには

1 MENUボタンを1回押してメニュー画面にする



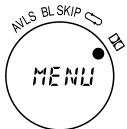
に「●」が点灯しているときは、「ドルビーB NR」モードにすでに設定されています。

- 2 ジョグレバーを上下にずらして、点滅している「●」を□□のところに合わせて



- 3 ジョグレバーを押す

ピーという確認音がして、□□に「●」が数秒間点灯した後、現在の動作(再生または停止)表示に戻ります。



ドルビーB NRを使わずに録音されたテープの場合には上記の操作で「●」を消灯させます。

設定の途中でメニュー画面を終了するには

30秒以上操作しないと、メニュー画面は自動的に現在の動作表示に戻りますが、その前にメニュー画面を終了したいときは、MENUボタンを押してください。

本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、□□NRの位置に合わせます。SETボタンを押して、「ON」を表示させます。

ご注意

- リモコンでメニュー設定の操作をしている間は、リモコンではテープ操作はできません。
- 設定は、電池を交換しても消えません。

▶ラジオを聞く - 応用

ラジオを聞くときのご注意

受信するとき

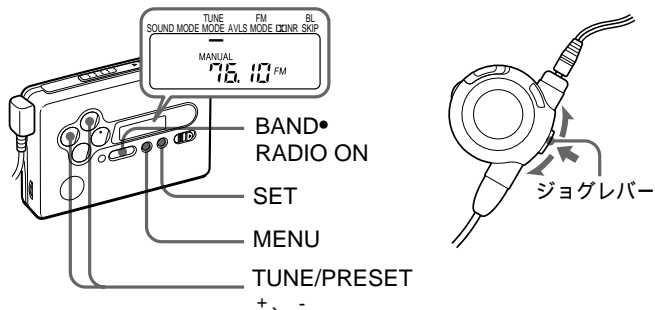
- このラジオのテレビ音声回路(国内モデルのみ)は、FM放送の受信回路と兼用になっています。このため、一部の地域ではテレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。
- 本体やリモコンを他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、本機のラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- 一部が金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなることがあります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞きください。

FMのステレオ放送を聞くとき

FMのステレオ放送を聞くときは本体のMENUボタンを繰り返し押し、表示窓のカーソルをFM MODEの位置に合わせ、SETボタンを押して表示なし(ステレオ)にします。電波が強すぎてはずんで聞こえる場合は「LOCAL」を表示させます。雑音が多いときは「MONO」(モノラル)にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。

なお、TV(国内モデルのみ)およびAMはステレオにはなりません。

自分で周波数を合わせる(マニュアル選局)

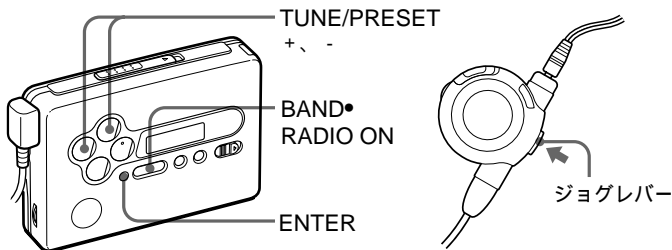


- 1 BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける
(リモコンでは、テープが停止している状態でジョグレバーを1秒以上押す)
- 2 BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押ししてAM、FMまたはTV(国内モデルのみ)を選ぶ
(リモコンでは、ジョグレバーを1秒以上押す)
- 3 本体のMENUボタンを繰り返し押しして、カーソルをTUNE MODEの位置に合わせる
- 4 SETボタンを押して「MANUAL」を表示させる
- 5 TUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押しして表示窓を見ながら周波数を合わせる
(リモコンでは、ジョグレバーを上下にずらす)
TUNE/PRESET + または - ボタンを長めに押し離すと、電波が強い放送局を自動的に受信して止まります(オートスキャン)。電波が弱くて止まらないときは、TUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押しして周波数を合わせてください。

放送局を自分で設定する

国内モデル:AM、FM、またはTVを各8局まで記憶できます。

ワールドモデル:AMまたはFMを各8局まで記憶できます。



□ 自動で受信して記憶させる (オートメモリースキャン)

受信できる局を自動的に記憶させます。受信状態のよい場所で操作してください。

- 1 BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける
(リモコンでは、テープが停止している状態でジョグレバーを1秒以上押す)
- 2 BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押ししてAM、FMまたはTV(国内モデルのみ)を選ぶ
(リモコンでは、ジョグレバーを1秒以上押す)
- 3 本体の表示窓に「A」表示が出るまでENTERボタンを押したままにする

受信できる放送局が自動的に記憶されていきます。

記憶が完了すると、周波数と表示が止まり、プリセット番号が表示されます。

記憶した放送局を受信するには
27ページをご覧ください。

放送局を記憶している間に電源を抜かないでください
受信した放送局が記憶されないことがあります。

ご注意

電波が弱いときは記憶できる放送局が8局以下になる場合があります。
エリア番号を切り換えると放送局の記憶は28～29ページの表のプリセット番号の
内容に戻ります。

□ 手動で受信して記憶させる (マニュアルメモリー)

- 1 BAND・RADIO ONボタンを押してラジオをつける
(リモコンでは、テープが停止している状態でジョグレバーを1秒以上押す)
- 2 BAND・RADIO ONボタンを繰り返し押ししてAM、FMまたはTV(国内モデルのみ)を選ぶ
(リモコンでは、ジョグレバーを1秒以上押す)
- 3 ENTERボタンを押す
周波数表示が点滅します。
- 4 表示の点滅中*にTUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押しして記憶させたい周波数を表示させ、ENTERボタンを押す
プリセット番号表示が点滅します。
- 5 表示の点滅中*にTUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押しして記憶させたいプリセット番号を点滅させる
- 6 表示の点滅中*にENTERボタンを押す
これで、選んだ放送局が、選んだプリセット番号に記憶されました。

* 表示の点滅が止まった場合は、手順3から操作し直してください。

(次ページへつづく)

記憶した放送局を受信するには
27ページをご覧ください。

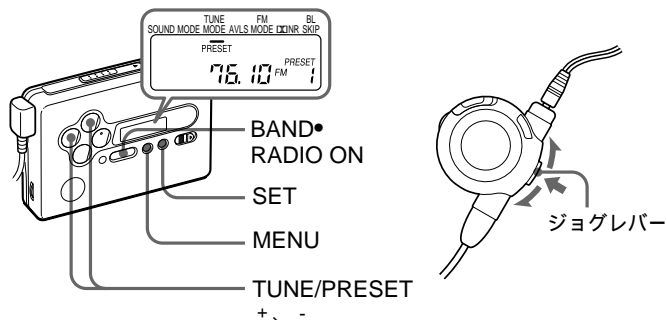
ご注意

同じプリセット番号に、新たに別の放送局を記憶させると、すでに記憶されていた放送局は消去されます。

放送局の記憶を消すには

- 1 25ページの「手動で受信して記憶させる」の手順1から3を行い、周波数表示を点滅させる
- 2 表示の点滅中にTUNE/PRESET+または- ボタンを繰り返し押しして「- - - -」* を表示させる
*「- - - -」は最大周波数あるいは最小周波数の次に表示されます。
- 3 ENTERボタンを押す
プリセット番号表示が点滅します。
- 4 表示の点滅中にTUNE/PRESET+または- ボタンを繰り返し押しして消したい放送局のプリセット番号を選ぶ
- 5 ENTERボタンを押す

□ 記憶した放送局を受信する (プリセット選局)



- 1 BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける
(リモコンでは、テープが停止している状態でジョグレバーを1秒以上押す)
- 2 BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押し押ししてAM、FMまたはTV(国内モデルのみ)を選ぶ
(リモコンでは、ジョグレバーを1秒以上押す)
- 3 本体のMENUボタンを繰り返し押し押しして、カーソルをTUNE MODEの位置に合わせる
- 4 SETボタンを押して「PRESET」を表示させる
- 5 TUNE/PRESET +または- ボタンを繰り返し押し押ししてプリセット番号を選ぶ
(リモコンでは、ジョグレバーを上下にずらす)

放送局一覧

エリア番号表(エリアコールの放送局一覧)

エリアコールについて詳しくは10~11ページをご覧ください。

AREA 1 札幌 (Sapporo)		
バンドプリセット	周波数	放送局名
	番号 (チャンネル)	
AM	1	567kHz NHK第1放送
	2	747kHz NHK第2放送
	3	1287kHz 北海道放送
	4	1440kHz 札幌テレビ放送
FM	1	80.4MHz FM北海道
	2	82.5MHz FMノースウェーブ
	3	85.2MHz NHK FM札幌
	4	88.2MHz NHK FM名寄
TV*	1	1 ch HBC北海道放送
	2	3 ch NHK総合テレビ
	3	5 ch STV札幌テレビ放送
	4	12 ch NHK教育テレビ

AREA 2 仙台 (Sendai)		
バンドプリセット	周波数	放送局名
	番号 (チャンネル)	
AM	1	891kHz NHK第1放送
	2	1089kHz NHK第2放送
	3	1260kHz 東北放送
FM	1	77.1MHz FM仙台
	2	82.5MHz NHK FM仙台
TV*	1	1 ch 東北放送
	2	3 ch NHK総合テレビ
	3	5 ch NHK教育テレビ
	4	12 ch 仙台放送

AREA 3 北関東 (Northern Kanto)		
バンドプリセット	周波数	放送局名
	番号 (チャンネル)	
AM	1	594kHz NHK第1放送
	2	693kHz NHK第2放送
	3	810kHz AFN (JBFEN)
	4	954kHz TBS
	5	1134kHz 文化放送
	6	1197kHz 茨城放送
	7	1242kHz ニッポン放送
	8	1530kHz 栃木放送

バンドプリセット	周波数	放送局名
	番号 (チャンネル)	
FM	1	76.4MHz FM栃木
	2	78.8MHz 放送大学
	3	80.0MHz TOKYO FM
	4	80.3MHz NHK FM宇都宮
	5	81.6MHz NHK FM前橋
	6	83.2MHz NHK FM水戸
	7	86.3MHz FM群馬
TV*	1	1 ch NHK総合テレビ
	2	3 ch NHK教育テレビ
	3	4 ch 日本テレビ
	4	6 ch TBSテレビ
	5	8 ch フジテレビ
	6	10 ch テレビ朝日
	7	12 ch テレビ東京

AREA 4 南関東 (Southern Kanto)		
バンドプリセット	周波数	放送局名
	番号 (チャンネル)	
AM	1	594kHz NHK第1放送
	2	693kHz NHK第2放送
	3	810kHz AFN (JBFEN)
	4	954kHz TBS
	5	1134kHz 文化放送
	6	1242kHz ニッポン放送
	7	1422kHz ラジオ日本
FM	1	76.1MHz FMインターウェーブ
	2	78.0MHz FMサウンド千葉
	3	78.6MHz FM富士
	4	79.5MHz FM埼玉
	5	80.0MHz TOKYO FM
	6	81.3MHz FM ジャパン
	7	82.5MHz NHK FM東京
	8	84.7MHz 横浜FM
TV*	1	1 ch NHK総合テレビ
	2	3 ch NHK教育テレビ
	3	4 ch 日本テレビ
	4	6 ch TBSテレビ
	5	8 ch フジテレビ
	6	10 ch テレビ朝日
	7	12 ch テレビ東京

AREA 5 名古屋 (Nagoya)

バンド	プリセット 番号	周波数 (チャンネル)	放送局名
AM	1	729kHz	NHK第1放送
	2	909kHz	NHK第2放送
	3	1053kHz	CBC中部日本放送
	4	1332kHz	東海ラジオ
	5	1431kHz	岐阜ラジオ
FM	1	77.8MHz	FM名古屋
	2	78.9MHz	FM三重
	3	80.7MHz	FM愛知
	4	81.8MHz	NHK FM津
	5	82.5MHz	NHK FM名古屋
	6	83.6MHz	NHK FM岐阜
TV*	1	1 ch	東海テレビ
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	5 ch	CBC中部日本放送
	4	9 ch	NHK教育テレビ
	5	11 ch	名古屋テレビ

AREA 6 大阪 (Osaka)

AM	1	558kHz	ラジオ関西
	2	666kHz	NHK第1放送
	3	828kHz	NHK第2放送
	4	1008kHz	ABC朝日放送
	5	1143kHz	KBS京都
	6	1179kHz	毎日放送
	7	1314kHz	ラジオ大阪
	8	1431kHz	和歌山放送
FM	1	76.5MHz	関西インターメディア
	2	80.2MHz	FM802
	3	82.8MHz	NHK FM京都
	4	85.1MHz	FM大阪
	5	86.5MHz	NHK FM神戸
	6	88.1MHz	NHK FM大阪
	7	89.4MHz	FM京都
	8	89.9MHz	FM兵庫
TV*	1	2 ch	NHK総合テレビ
	2	4 ch	毎日テレビ
	3	6 ch	ABC朝日テレビ
	4	8 ch	関西テレビ
	5	10 ch	読売テレビ
	6	12 ch	NHK教育テレビ

AREA 7 広島 (Hiroshima)

バンド	プリセット 番号	周波数 (チャンネル)	放送局名
AM	1	702kHz	NHK第2放送
	2	918kHz	山口放送
	3	1071kHz	NHK第1放送
	4	1116kHz	南海放送
	5	1350kHz	中国放送
	6	1575kHz	AFN (JBFEN)
FM	1	78.2MHz	広島FM
	2	88.3MHz	NHK FM広島
TV*	1	3 ch	NHK総合テレビ
	2	4 ch	中国放送テレビ
	3	7 ch	NHK教育テレビ
	4	12 ch	広島テレビ

AREA 8 福岡 (Fukuoka)

AM	1	612kHz	NHK第1放送
	2	1017kHz	NHK第2放送
	3	1278kHz	RKB毎日放送
	4	1413kHz	九州朝日放送
FM	1	77.9MHz	FM佐賀
	2	78.7MHz	FM九州
	3	80.7MHz	FM福岡
	4	81.6MHz	NHK FM佐賀
	5	84.8MHz	NHK FM福岡
TV*	1	1 ch	九州朝日放送
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	4 ch	RKB毎日放送
	4	6 ch	NHK教育テレビ
	5	9 ch	テレビ西日本放送

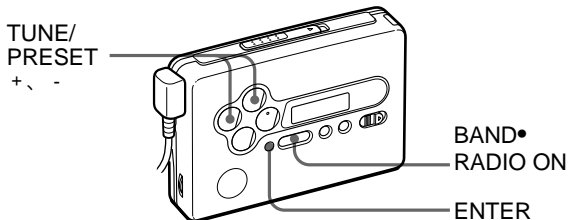
JR JR新幹線 (Shinkansen)**

FM	1	76.0MHz	-
	2	76.6MHz	-
	3	77.5MHz	-
	4	78.8MHz	-
	5	79.6MHz	-

*TVは国内モデルのみ受信できます

**東京～博多間の新型車両の列車のみ
(2階建て車両とグリーン車を除く)

海外でラジオを聞く



- 1 BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける
- 2 ENTERボタンを押して、周波数表示を点滅させる
- 3 「AREA 1」表示が点滅するまでBAND•RADIO ONボタンを押したままにする
- 4 表示の点滅中*にTUNE/PRESET+または- ボタンを繰り返し押し押しして「USA」または「Eur」を選ぶ

*表示の点滅が止まった場合は手順2から操作し直してください。

受信範囲は下記ようになります。

使う地域	選ぶエリア番号	受信周波数
アメリカ合衆国、カナダ	USA	FM: 87.5 - 108MHz
中南米諸国		AM: 530 - 1,710kHz
ヨーロッパ、その他	Eur	FM: 87.5 - 108MHz
		AM: 531 - 1,602kHz

- 5 ENTERボタンを押す

6 国内モデル:

① 「1」の表示が「A」に変わるまでBAND/ASP•

RADIO ONボタンを押したままにする

その場所で受信できるAM、FMの放送局を自動的に記憶します。

② 「記憶した放送局を受信する」(27ページ)にしたがって 受信する

うまく受信できない場合は、「自分で周波数を合わせる」(23ページ) または「放送局を自分で設定する」(24ページ)にしたがって受信してください。

ワールドモデル:

「自分で周波数を合わせる」(23ページ) または「放送局を自分で設定する」(24ページ)にしたがって受信してください。

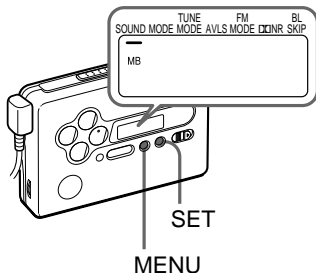
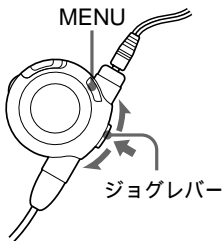
日本の周波数に戻すには

手順1から3にしたがって操作し、手順4で「AREA1~8」または「JR」を選んでENTERボタンを押します。

▶その他の機能を使う

高音または低音を強調する

サウンド (SOUND)



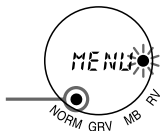
リモコンまたは本体で、好みの音質を選べます。

リモコン表示 (本体のSOUND表示)	音質
リバイブ RV	高音を強調 (古いテープなど、高音にメリハリがないテープを再生するとき)
メガベース MB	低音を強調
グループ GRV	低音をより強調
ノーマル NORM (本体では表示なし)	通常の音質

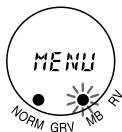
リモコンで操作するには

1 MENUボタンを1回押してメニュー画面にする

現在の設定の
ところに「●」点灯



- 2 ジョグレバーを上下にずらして、点滅している「●」を好みの音質(RV、MB、GRV、またはNORM)のところに合わせる



- 3 ジョグレバーを押す

ピーという確認音がして、選んだ音質のところに「●」が数秒間点灯した後、現在の動作(再生または停止)表示に戻ります。



設定の途中でメニュー画面を終了するには

30秒以上操作しないと、メニュー画面は自動的に現在の動作表示に戻りますが、その前にメニュー画面を終了したいときは、MENUボタンを押してください。

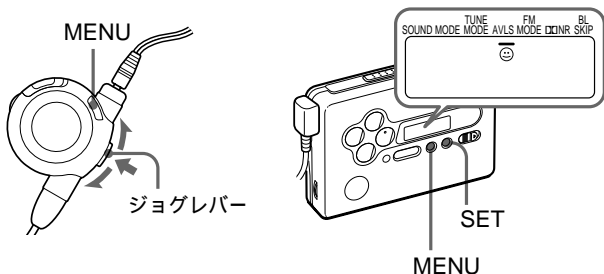
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、SOUNDの位置に合わせます。SETボタンを押して、設定を選びます。通常 of 音質を選ぶ場合は、表示なしにしてください。

ご注意

- GRVにしたときに音がひずんだように聞こえる曲では、MBまたはNORMにしてお聞きください。
- リモコンでメニュー設定の操作をしている間は、リモコンではテープ操作はできません。
- 設定は、電池を交換しても消えません。

音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS—快適音量)



リモコン表示	本体表示 (AVLS)	モード
AVLSに「●」点灯	☺	AVLS入
AVLSに表示なし	表示なし	AVLS切

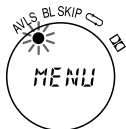
リモコンで操作するには

- 1 MENUボタンを1回押してメニュー画面にする

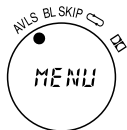


AVLSに「●」が点灯しているときは、AVLS機能がすでに設定されています。

- 2 ジョグレバーを上下にずらして、点滅している「●」をAVLSのところに合わせる



- 3 ジョグレバーを押す
ピーという確認音がして、AVLSに「●」が数秒間点灯した後、現在の動作(再生または停止)表示に戻ります。



AVLS使用中に、低音が強調された曲で、音が波打つように聞こえるときは、音量を下げて使います。

AVLSを解除するには
上記の操作で「●」を消灯させます。

設定の途中でメニュー画面を終了するには
30秒以上操作しないと、メニュー画面は自動的に現在の動作表示に戻りますが、その前にメニュー画面を終了したいときは、MENUボタンを押してください。

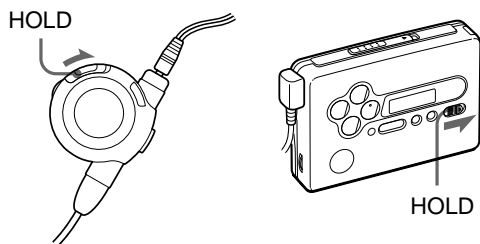
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、AVLSの位置に合わせます。SETボタンを押して、「☺」を表示させます。

ご注意

- リモコンでメニュー設定の操作をしている間は、リモコンではテープ操作はできません。
- AVLSの設定は、電池を交換すると解除されます。

誤操作を防ぐ(ホールド機能)









HOLDスイッチを矢印の方向にずらして、誤操作を防ぎます。

乾電池・充電式電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、電池交換お知らせ表示が点滅します。テープ走行が不安定になったり雑音が多くなるので、乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電し直してください。

乾電池は、別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

電池の残量がなくなってくると、表示でお知らせします

リモコン表示		→		→	
本体表示		→		→	
意味	残量は充分です。		残量が少なくなってきました。		電池が消耗しています。しばらくすると、本体の動作が止まります。

ご注意

- 100%充電されていない充電式電池を入れても、残量表示がすべて点灯することがありますが、充電量(充電時間)に応じて、持続時間は短くなります。
- 早送りや巻き戻し中、または極端に温度が低い場所で使用しているときは、残量が少なく表示されることがあります。

電池の持続時間

(EIAJ*)

使用電池	テープ再生時	ラジオ受信時
ソニーアルカリ乾電池LR6(WM)	約36時間	約32時間
充電式ニカド電池NC-6WM (100%充電にて)	約10時間	約10時間
充電式ニカド電池とソニーアルカリ乾電池 の併用	約45時間	約42時間

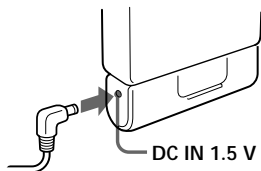
* EIAJ (日本電子機械工業会)規格による測定値です。(ソニーHF シリーズカセットテープ使用)

ご注意

- 電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。
- 付属のマンガン乾電池はお試用です。マンガン乾電池でご使用になると、ブランクスキップやAMS中などに停止してしまう場合があります。

コンセントにつないで使う (ワールドモデルのみ)

- 1 乾電池ケースを本体に取りつける
充電式電池が入っていたら取り出してください。
- 2 別売りのACパワーアダプター
AC-E15L(日本国内用)または
AC-E15HG(海外用)を、乾電池
ケース側面のDC IN 1.5Vジャック
につなぐ
- 3 ACパワーアダプターをコンセント
につなぐ



コンセントにつないで使うときはご注意ください。

- 必ず充電式電池を本体から抜いてください。入れたままで使用すると充電式電池の性能が低下することがあります。
- この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E15LまたはAC-E15HG(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- AC-E15HGは、地域により異なる仕様になっています。使用する地域の電源電圧やプラグの形状をお確かめのうえ、お買い求めください。



▶その他

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、別売りのクリーニングテープ(CHK-1W)でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

クリーニングテープは指定のものをお使いください

他のクリーニングテープを使うと故障の原因となることがあります。

本体表面が汚れたときは

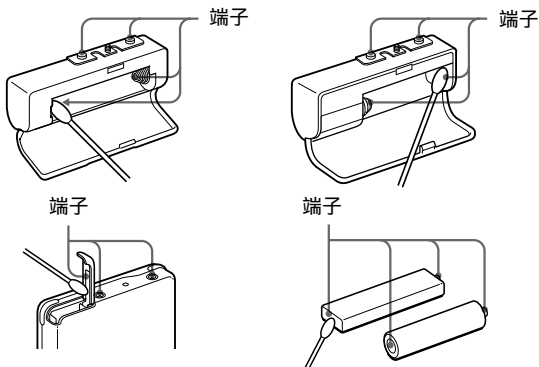
水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れについて

常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音の原因になることがあります。

端子のお手入れについて

定期的に図のように各端子を綿棒や柔らかい布などで、きれいにしてください。



使用上のご注意

充電・充電式電池について

- ・お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池は、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- ・充電が終わったら、早めに充電器をコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- ・充電中は充電器や充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。

日本国内での充電式電池の廃棄について



このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

Ni-Cd

この製品は、ニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制にしたがって廃棄してください。

取り扱いについて

- ・落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ・リモコンやヘッドホンのコードを強く引っばらないでください。

- ・ 次のような場所には置かないでください。
 - － 温度が非常に高いところ(60 以上)。
 - － 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - － 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
 - － 風呂場など湿気の多いところ。
 - － 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - － ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ(40 以上)や低いところ(0 以下)では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- ・ 長い間本機を使わなかったときは、1度本機を数分間再生状態にしてからお使い始めください。
- ・ 動作中はカセットぶたを開けないでください。テープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。テープがたるんでしまったときは、必ずたるみを取ってから使用してください。
- ・ 長時間テープについて
90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで本機の操作はできません。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外では保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
ブランクスキップ、AMS、1曲リピートや早送り・巻き戻しをするとテープが止まる	消耗した充電式電池または乾電池を使っている。マンガン乾電池を使っている。(ブランクスキップやAMSなどは再生と比べて電流を多く消費するためです。)	充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
操作できない	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
	本体またはリモコンのホールド機能が働いている。	ホールドを解除する。「誤操作を防ぐ」(36ページ)参照
テープ操作ができない	カセットが入っていない。	カセットを入れる。
雑音が入ることがある	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などから離して使用する。
テープ再生中に勝手に早送りしてしまう	ブランクスキップが働いている	ブランクスキップを解除する「長いあきをとばす」(18ページ)参照。
音が途切れる 雑音がする	ヘッドホンのプラグが汚れている。	ヘッドホンのステレオミニプラグおよびリモコンのプラグをきれいにクリーニングする。
	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
音量が大きくなりづらい	AVLSが働いている。	AVLSを解除する。「音もれを抑え耳にやさしい音にする」(34ページ)参照

症状	原因	処置
低音が強すぎたりひずんだように聞こえる	音質がMBまたはGRVになっている	音質を通常の設定にする。「高音または低音を強調する」(32ページ)参照
ASP機能を使って聞きたい局が呼び出せない(国内モデルのみ)	受信状態が悪いところにいる(電波が弱いところにいる、近くに放送局があるなど)。	<ul style="list-style-type: none"> ・手動で呼び出す。「自分で周波数を合わせる」(23ページ)参照 ・手動で記憶させる。「放送局を自分で設定する」(24ページ)参照
動作や表示がおかしい	----	いったん電源・電池(乾電池、充電式電池)をはずして、15秒以上たってから入れ直す。
表示窓の表示が一瞬消えることがある	電池が消耗している	充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオカセットプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

海外での保証とアフターサービスについて

- ・保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
- ・海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

主な仕様

カセットプレーヤー部・共通部

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲(EIAJ*)	DOLBY NR OFF時: 40~15,000 Hz
出力端子	ヘッドホンジャック(専用リモコンジャック)1個 負荷インピーダンス 8~300
実用最大出力(DC時)	4 mW + 4 mW (EIAJ 16)
電源	DC 1.5 V 充電式電池(付属: NC-6WM、1.2 V、600 mAh、 Ni-Cd)、単3形乾電池1個
電池持続時間(EIAJ)	乾電池、充電式電池の持続時間については「電池の持続時間」 (37ページ)をご覧ください。
最大外形寸法	約108.9 × 77.7 × 23.9 mm (幅/高さ/奥行き) 突起部含む
質量	本体 約145 g ご使用時 約210 g (充電式電池NC-6WM、テープ C- 60HF含む)

ラジオ部

受信周波数(日本国内)	FM(ステレオ): 76.0~90.0MHz AM(モノラル): 531~1,710kHz TV(モノラル): 1~12ch(国内モデルのみ)
-------------	---

別売りアクセサリ

国内モデル・ワールドモデル共通

充電式ニカド電池 NC-6WM、クリーニングテープ CHK-1W、ステレオイヤ
レシーバー(ヘッドホン)**MDR-ED238SP (GROOVE対応)、MDR-E888SP

ワールドモデルのみ

ACパワーアダプターAC-E15L (日本国内用)、ACパワーアダプターAC-E15HG
(海外用)、カーバッテリーコードDCC-E215

ワールドモデルをお買い上げのお客さまへ

国によって扱っているアクセサリが違います。詳しくはお買い上げ店、ソニーサ
ビス窓口、海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

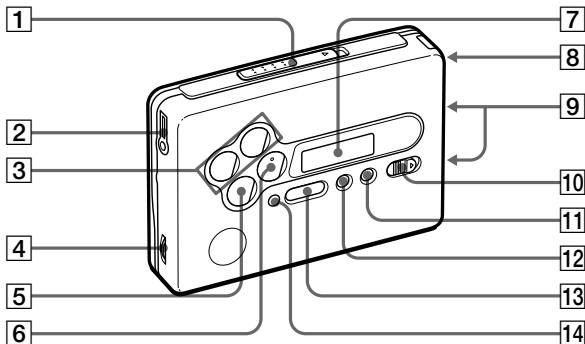
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

** ヘッドホンは、本体のREMOTEジャックに直接つなぐときも、リモコンにつなぐとき
も、ステレオミニプラグのものをお求めください。

各部のなまえ

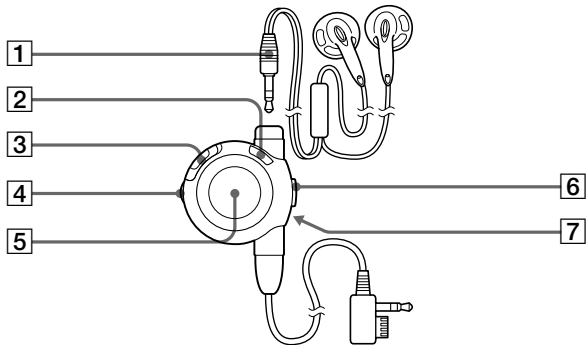
本体



- ① オープン
OPEN (カセットぶた開け) つまみ
リモート
- ② REMOTE (ヘッドホン、
リモコン)ジャック
- ③ テープ時: FF (早送り)・AMS/
REW (巻き戻し)・AMSボタン
ラジオ時: TUNE (選局)/
プリセット
PRESET+、- (放送局番号選択)
ボタン
ボリューム
- ④ VOL (音量調節) つまみ
- ⑤ テープ時: ■ (停止) ボタン
ラジオ時: RADIO OFF (ラジオ
電源切) ボタン
- ⑥ ◀▶ (再生)・REPEATボタン
- ⑦ 液晶表示窓
- ⑧ 充電式電池入れ
- ⑨ 乾電池ケース用接点
ホールド
- ⑩ HOLD (誤操作防止)スイッチ
セット
- ⑪ SET (機能設定)ボタン
メニュー
- ⑫ MENU (機能選択)ボタン
バンド
- ⑬ 国内モデル: BAND/ASP (AM、
FM、TV選択/オート・ステー
ション・プリセット*)・RADIO
オン
ON (ラジオ電源入) ボタン
- *短く押すとBANDボタン、押し
たままにするとASPボタンとし
て働きます。
- ワールドモデル: BAND (AM、
FM選択)・RADIO ON (ラジオ
電源入) ボタン
バンド
ラジオ オン
- ⑭ ENTER (入力) ボタン
エンター

リモコンつきヘッドホン

L(左)R(右)




- 1 ステレオミニプラグ
メニュー
- 2 MENUボタン
ホールド
- 3 HOLD(誤操作防止)スイッチ
ボリューム
- 4 VOL(音量調節)つまみ
- 5 液晶表示窓
- 6 ジョグレバー
- 7 クリップ

► Getting Started

Choosing a Power Source

Dry Battery

Attach the supplied battery case, and then insert one R6 (size AA) battery with correct polarity. Be sure to insert it from the  side.

Note

- For maximum performance we recommend that you use a Sony alkaline battery.

Rechargeable Battery

- 1 Insert the supplied rechargeable battery (NC-6WM) into the charger with correct polarity.
- 2 Plug in the charger to the house current (mains).
Japanese model: Full charging takes about 2 hours.
“Sony World Model”: Full charging takes about 1 hour.
If the plug does not fit to your mains, attach the supplied AC plug adaptor.
- 3 Insert the fully charged battery into the rechargeable battery compartment.







You can charge the battery about 300 times.


Note

- Certain countries may regulate disposal of battery used to power this product. Please consult your local authority.



When to replace/charge the battery

The battery remainder mark has 3 steps to show the remaining battery power.

Display		Condition
Remote control	Main unit	
		There is enough battery power.
↓	↓	
		The battery power is decreasing.
↓	↓	
		The battery is exhausted. Replace it with a new battery.

When the battery is exhausted, tape playback will become unstable and noisy, and then the tape will stop. Replace or charge the battery when “” flashes in the display.

Notes

- When you insert a charged battery, the battery remainder mark may show “” (“” on the main unit) even if it is not fully charged.
- The battery remainder mark may temporarily show a lower level during fast forwarding or rewinding or use in extremely low temperatures.

Battery life

(Approx. hours) (EIAJ*)

Sony alkaline LR6 (SG)

Tape playback	36
Radio reception	32

Rechargeable battery (NC-6WMM)

Tape playback	10
Radio reception	10

Sony alkaline LR6 (SG) and

Rechargeable NC-6WMM

Tape playback	45
Radio reception	42

* Measured value by the standard of EIAJ (Electronic Industries Association of Japan). (Using a Sony HF series cassette tape)

Note

- The battery life may shorten depending on the operation of the unit.

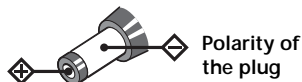
House Current

("Sony World Model" only)


Remove the rechargeable battery if inserted. Attach the battery case and connect the AC power adaptor AC-E15L for Japan (not supplied) or AC-E15HG (not supplied) to the DC IN 1.5 V jack of the battery case and to the wall outlet.

Do not use any other AC power adaptor.

Specifications for AC-E15HG vary for each area. Check your local voltage and the polarity of the plug before purchasing.



Connecting the earphones

- 1 Connect the stereo miniplug firmly to the remote control.
- 2 Connect the remote control to  REMOTE.
- 3 Wear the "L" marked side to the left ear and the "R" marked side to the right ear. If the earphones do not fit to your ears or the sound is unbalanced, adjust the earphones to fit to your ears firmly.

► *Operating the Walkman*

Playing a Tape

- 1 Open the cassette holder and insert a cassette.
- 2 Make sure the HOLD function is turned off. If it is on, slide the HOLD switch to turn it off.
- 3 Press the jog lever on the remote control, or press ◀▶•REPEAT on the main unit.
Adjust the volume with VOL.

When adjusting the volume on the main unit

Set the VOL control on the remote control at maximum.

When adjusting the volume on the remote control

Set the VOL control on the main unit to around 6.

Note on the cassette holder

When opening the cassette holder on the main unit, make sure the tape is stopped, then slide the OPEN switch. If the cassette holder is opened when the tape is running, the tape may loosen and be damaged.

Operation on the remote control

To	Operation on the jog lever and display
Play the other side	Press for more than a second during playback (Playing side FWD: "●" on "FWD". Playing side REV: "●" on "REV")
Stop playback	Press once during playback
Fast forward	Jog upward for less than a second during stop ("FF" appears)
Rewind	Jog downward for less than a second during stop ("REW" appears)
Repeat the current track (Repeat Single Track Function)	Press twice during playback <i>To stop a single repeat, press once.</i>
Play the next track/ succeeding 9 tracks from the beginning (AMS*)	Jog upward once/for the number of tracks to be skipped during playback ("AMS" and the number of tracks to be skipped appear)
Play the current track/previous 8 tracks from the beginning (AMS*)	Jog downward once/for the number of tracks to be skipped during playback ("AMS" and the number of tracks to be skipped appear)

(continued)

Play the other side from the beginning (Skip Reverse function)	Jog upward for 2 seconds or more during stop ("FF" flashes)
Play the same side from the beginning (Rewind Auto Play function)	Jog downward for 2 seconds or more during stop ("REW" flashes)

* Automatic Music Sensor

Operation on the main unit

To	Press
Play the other side	◀▶•REPEAT during playback
Stop playback	■ (stop)•RADIO OFF
Fast forward	FF•AMS during stop
Rewind	REW•AMS during stop
Repeat the current track (Repeat Single Track function)	◀▶•REPEAT for 2 seconds or more during playback <i>To stop a single repeat, press it again.</i>
Play the next track/succeeding 9 tracks from the beginning (AMS*)	FF•AMS once/repeatedly during playback

(continued)

Play the current track/previous 8 tracks from the beginning (AMS*)

Play the other side from the beginning (Skip Reverse function)

FF•AMS for 2 seconds or more during stop

Play the same side from the beginning (Rewind Auto Play function)

REW•AMS for 2 seconds or more during stop

* Automatic Music Sensor

Note on AMS, Repeat Single Track and BL SKIP

- The AMS and the Repeat Single Track functions detect a blank of 4 seconds or longer between the tracks. The BL SKIP function detects a blank of 12 seconds or longer. If there is noise between the tracks, these functions may not recognize the blank and may not operate. Likewise, if there is a quiet segment within a track, these functions may recognize it as a blank space.
- You need a blank of 10 seconds or longer at the beginning of each side of the cassette. Otherwise, the first track may not be played back from the beginning.

Using the Menu

Adjusting playback modes

You can adjust the following playback modes using the Menu function on the remote control or on the main unit.

AVLS: Turn on to limit the maximum volume to protect your hearing (Automatic Volume Limiter System) (on the main unit, “☺” indicates “on”).

BL SKIP: Fast-forwards the tape to the next track if there is a blank space of longer than 12 seconds (Repeats a set of three short beeps when skipping a blank) (on the main unit, “ON” indicates “on”).

↔ (MODE): plays both sides repeatedly when turned on (on the main unit, “↔” is displayed).

Plays both sides once from the FWD side when turned off (on the main unit, “↶” is displayed).

☐ (DOLBY NR): Turn on when you play back a tape recorded with the Dolby* B NR system (on the main unit, “ON” indicates “on”).

* Dolby noise reduction manufactured under license from Dolby Laboratories Licensing Corporation.
“DOLBY” and the double-D symbol ☐ are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

Note

- The playback modes can be set or canceled separately.

On the remote control

- 1 Press MENU to enter the menu mode. “●” (the cursor) will flash in the display of the remote control.
- 2 Jog the jog lever upward/downward repeatedly until “●” flashes on the playback mode to be adjusted.
- 3 Press the jog lever to enter. You will hear a short beep and “●” will appear for a few seconds. Then, the display will exit the menu mode.

To cancel a playback mode

On the remote control, repeat the above so that “●” disappears on the playback mode to be adjusted.

To display the playback mode status on the remote control

Press MENU to enter the menu mode. The active playback mode(s) will be marked by the “●”.

On the main unit

- 1 Press MENU repeatedly to move “_” (the cursor) in the display of the main unit to the playback mode to be adjusted.
- 2 Press SET repeatedly to select the playback mode to your choice.

Note

- If the sound is distorted when you listen to the bass-boosted sound with AVLS function, turn down the volume.

Emphasizing Sound

You can choose one of the following sound emphases using the Menu function on the remote control or on the main unit.

RV : Sound Revitalizer.

Emphasizes treble sound.

MB : Mega Bass.

Emphasizes bass sound (moderate effect).

GRV : Groove.

Emphasizes bass sound (strong effect).

NORM (no message on the main unit) : normal (no effect).

On the remote control

- 1 Press MENU to enter the menu mode. “●” will flash in the display.
- 2 Jog the jog lever upward/downward repeatedly until “●” flashes on the sound emphasis of your choice.

- 3 Press the jog lever to enter. You will hear a short beep and “●” will appear for a few seconds. Then, the display will exit the menu mode.

To display the sound emphasis status on the remote control

Press MENU to enter the menu mode. The active sound emphasis will be marked by the “●”.

On the main unit

- 1 Press MENU repeatedly to move “_” in the display to SOUND.
- 2 Press SET repeatedly to select the sound emphasis of your choice.

Note

- If the sound becomes distorted with the GRV effect, select MB or NORM (no message).

Notes on the menu mode

- You cannot operate the tape from the remote control while you are in the menu mode.
- When you press the jog lever to enter, or if you leave the remote control unoperated for more than 30 seconds, the display will exit the menu mode automatically. To exit the menu mode manually, press MENU again.
- The menu setting (except for AVLS) is stored even after the battery is replaced.

Listening to the Radio

- 1 Press BAND • RADIO ON to turn on the radio.
- 2 Press BAND • RADIO ON repeatedly to select the band. (Japanese model: AM, FM, or TV.
“Sony World Model”: AM or FM.)
- 3 Press MENU on the main unit repeatedly and set “_” (the cursor) in the display of the main unit to TUNE MODE.
- 4 For manual tuning
 - ① Press SET to choose MANUAL.
 - ② Press TUNE/PRESET + or – repeatedly to tune in to the desired station.
Hold down TUNE/PRESET + or – for a few seconds to scan for stations.

For preset tuning

- ① Press SET to choose PRESET.
- ② Press TUNE/PRESET + or – repeatedly to recall the desired preset station.
To use preset tuning, preset stations first. For details see “Tuning in to the Ready-preset Stations for Each Area” or “Presetting Radio Stations”.

To turn off the radio

Press ■ • RADIO OFF .

To improve the broadcast reception

- For AM: The Walkman has a built-in antenna. Reorient the Walkman horizontally to obtain optimum AM reception.
- For FM or TV (Japanese model only) : Extend the cord of the remote control, which serves as the FM antenna. If the reception is still not good, press MENU repeatedly to set the cursor in the display of the main unit to FM MODE . Then press SET to choose from “MONO” (monaural), “LOCAL” (stereo) or none (stereo) for best reception.

To operate from the remote control

To turn on the radio, press the jog lever for more than one second (while the tape is in stop mode only).

To tune in or recall a preset station, jog the jog lever upward/downward.

To turn off the radio, press the jog lever.

Tuning in to the Ready-preset Stations for Each Area

For each of the nine areas in Japan (Sapporo, Sendai, Northern Kanto, Southern Kanto, Nagoya, Osaka, Hiroshima, Fukuoka and the Shinkansen), this Walkman is factory preset with frequency data for major stations receivable in the area. Once your present area is selected, you can tune in to the stations on the area by preset tuning. For the factory preset stations for each area, see pages 28 to 29 of the Japanese text.

Searching the Area Automatically — Auto Station Preset function (Japanese model only)

The Walkman automatically selects your present area.

- 1 Press BAND/ASP • RADIO ON to turn on the radio.
- 2 Hold down BAND/ASP • RADIO ON until “AREA” is displayed.
The unit automatically selects the area number for your present area and the factory preset FM, AM, and TV stations for that area are stored on the preset numbers. Then, the FM frequency and “PRESET 1” will appear.

If area number was not found, the unit automatically scans for FM, AM, and TV stations and stores the ones that were received.

- 3 Tune in to the desired station by “preset tuning” (see “Listening to the Radio”).

If the ASP function does not store your desired station, or if you want to customize the preset number for the stations, preset the stations manually (see “Storing Radio Stations Manually”).

Selecting the Area Manually (Manual Area Call)

You can choose the area number manually.

- 1 Press BAND • RADIO ON to turn on the radio.
- 2 Press ENTER. The frequency digits will flash in the display.
- 3 Hold down BAND • RADIO ON until “AREA 1” flashes.
- 4 While “AREA 1” is flashing, press TUNE/PRESET+ or – repeatedly to select and area number from 1 to 8 or “JR” and then press ENTER.
- 5 Tune in to the desired preset station by “preset tuning” (see “Listening to the Radio”).

Presetting Radio Stations

Once you store your favorite stations in memory, you can play them easily.

Japanese model: You can preset up to 24 stations — 8 each for FM, AM and TV.

“Sony World Model”: You can preset up to 16 stations — 8 each for FM and AM.

Tuning in to and Storing Radio Stations Automatically (Auto-Memory Scanning function)

- 1 Press BAND • RADIO ON to turn on the radio.
- 2 Press BAND • RADIO ON repeatedly to select the band.
- 3 Press ENTER until “A” appears in the display.
The Walkman starts searching and storing stations.
Then the preset number appears.

Note

- Do not remove the power sources until all the stations are stored.

Storing Radio Stations Manually (Manual-Memory function)

You can preset the stations in any order.

- 1 Press BAND • RADIO ON to turn on the radio.
- 2 Press BAND • RADIO ON repeatedly to select the band.
- 3 Press ENTER.
The frequency digits will flash in the display.
- 4 Press TUNE/PRESET + or - repeatedly to tune in to the desired station and press ENTER.
The preset number will flash in the display.
- 5 Press TUNE/PRESET + or - repeatedly to select the desired preset number and press ENTER.
The station is stored to the number of your choice.

Notes

- If you cannot complete step 4 or 5 while the indications are flashing, repeat from step 3.
- If you preset a new station to the same preset number, the previously stored station will be erased.

To cancel the stored station

Follow the procedure above and in step 4, instead of tuning in to a station, press and hold TUNE/PRESET + or - until “----” is displayed. Press ENTER while “----” is displayed. The preset number will flash in the display. Press TUNE/PRESET + or - repeatedly to select the preset number you want to cancel and press ENTER.

Receiving Stations Outside Japan

- 1 Press BAND • RADIO ON to turn on the radio.
- 2 Press ENTER.
The frequency digits will flash in the display.
- 3 Press and hold BAND • RADIO ON until "AREA 1" flashes.
- 4 While "AREA 1" is flashing, press TUNE/PRESET + or - to select "USA" or "Eur".
- 5 Press ENTER.
- 6 Japanese model only:
 - ① Press and hold BAND/ASP•RADIO ON until the preset number display changes to "A", to store the radio stations (both AM and FM) automatically. The Walkman starts searching and storing stations.
If you cannot store the desired stations, store them manually.
 - ② Tune in to the stations following the procedure of "Listening to the Radio".
"Sony World Model": Tune in to and store stations as necessary following the procedure of "Listening to the Radio" and "Presetting Radio Stations".

Area indication and frequency range

Area*	Frequency range	
	FM (MHz)	AM(kHz)
USA	87.5-108	530-1,710
Eur	87.5-108	531-1,602
Japan (AREA 1-8, JR)	76-90	531-1,710

*USA : USA, Canada, and Central and South America

Eur : European and other countries

To receive stations in Japan

Select "AREA 1 to 8" or "JR" in step 4 above.

Locking the controls

— Hold function

Slide HOLD switch in the direction of the arrow to lock the controls.

Sony **on** line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111